

岡山県感染症週報 2025 年第 22 週 (5 月 26 日 ~ 6 月 1 日)

◆2025 年 第 22 週 (5 / 26 ~ 6 / 1) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況 (第 22 週届出分)

第 21 週 2 類感染症 結核 2 名 (20 代 男 1、80 代 女 1)

5 類感染症 梅毒 1 名 (40 代 男)

百日咳 9 名 (乳児 男 1、小学生 男 2・女 2、中学生 男 1、30 代 女 1、40 代 男 1・女 1)

第 22 週 2 類感染症 結核 2 名 (60 代 男 1、80 代 女 1)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O26 : 30 代 男)

4 類感染症 重症熱性血小板減少症候群 1 名 (80 代 女)

レジオネラ症 2 名 (60 代 男 1、70 代 男 1)

5 類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 名 (70 代 女)

梅毒 2 名 (20 代 女 1、30 代 男 1)

百日咳 71 名 (幼児 男 1・女 1、小学生 男 18・女 10、中学生 男 5・女 10、高校生 男 5・女 2、20 代 男 2・女 1、30 代 男 1、40 代 男 3・女 4、50 代 男 1・女 3、60 代 男 2・女 1、70 代 男 1)

効果的な場面でのマスク着用！



© 岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：ARI 定点 50、小児科定点 28、眼科定点 12、STD 定点 18、基幹定点 5

○新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で 35 名 (定点あたり 0.70 人) の報告がありました。

○急性呼吸器感染症 (ARI) は、県全体で 3,078 名 (定点あたり 61.56 人) の報告がありました。

【第 23 週 速報】

○重症熱性血小板減少症候群 1 名 (70 代 女) の発生がありました。

○日本紅斑熱 1 名 (70 代 男) の発生がありました。

1. [新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\)](#) は、県全体で 35 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 0.82 → 0.70 人)。地域別では、倉敷市 (1.33 人)、備前地域 (0.75 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。年代別では、10 代以下および 50 代を除く年代で前週から減少しました。基本的な感染防止策 (効果的な場面でのマスク着用、手洗い等の手指衛生、換気、3 密 (密閉・密集・密接) の回避、健康的な日常生活、体調不良時の備え) に留意し、自主的な判断により実施しましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報』](#) をご覧ください。
2. [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#) は、県全体で 3,078 名の報告があり、前週とほぼ同数でした (定点あたり 61.72 → 61.56 人)。詳しくは、「[★急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ [『急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報』](#) をご覧ください。
3. [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\)](#) は、2025 年第 22 週に 1 名の報告があり、2025 年の累計報告数は 2 名となりました。ダニが媒介する感染症として、他に [日本紅斑熱](#) や [つつが虫病](#) などがあります。これらは、病原体を保有するツツガムシまたはマダニに刺咬されることで感染します。また、SFTS に関してはイヌやネコからの感染も報告されています。ダニに刺咬されないための予防対策等については [コラム「ダニが媒介する感染症に注意しましょう！」](#) をご覧ください。
4. [梅毒](#) は、2025 年第 22 週に 2 名の報告があり、2025 年の累計報告数は 109 名となりました (2024 年の同時期：136 名)。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『梅毒について』](#) をご覧ください。
5. [百日咳](#) は、2025 年第 22 週に 71 名の報告があり、2025 年の累計報告数は全数把握による統計を開始した 2018 年以降最多の 691 名となりました。詳しくは「[今週の注目感染症①](#)」をご覧ください。
6. [伝染性紅斑](#) は、県全体で 17 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 0.93 → 0.61 人)。この感染症は小児を中心に見られ、両頬に赤い発しん (紅斑) が出ることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。ほとんどの場合、重症化することなく自然に回復しますが、妊娠中の方が感染すると、胎児水腫や流産のリスクとなる可能性があるため注意が必要です。詳しくは「[今週の注目感染症②](#)」をご覧ください。

流行の推移

疾病名	定点あたり患者数		推移	疾病名	定点あたり患者数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	0.60	1.00	↗	突発性発しん	0.75	0.71	➡
COVID-19	0.82	0.70	↘	ヘルパンギーナ	0.32	0.07	↘
急性呼吸器感染症(ARI)	61.72	61.56	➡	流行性耳下腺炎	0.18	0.14	↘
RSウイルス感染症	0.25	0.07	↘	急性出血性結膜炎	0.08	0.00	↘
咽頭結膜熱	0.54	0.64	↗	流行性角結膜炎	0.33	0.08	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.86	1.86	➡	細菌性髄膜炎	0.00	0.20	↗
感染性胃腸炎	9.21	8.93	➡	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	➡
水痘	0.18	0.11	↘	マイコプラズマ肺炎	0.60	0.20	↘
手足口病	0.18	0.25	↗	クラミジア肺炎	0.00	0.00	➡
伝染性紅斑	0.93	0.61	↘	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.80	0.00	↘

【記号の説明】 前週からの推移

↗ : 増加

➡ : ほぼ増減なし

↘ : 減少

増加・減少 : 前週比10%以上の増減

ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)*、つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(マダニ、ツツガムシの忌避を効能としているもの)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。

また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。

体調不良のペットや野生動物との接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

⇒ [日本紅斑熱](#) (国立健康危機管理研究機構)

⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A](#) (厚生労働省)

⇒ [ツツガムシ病とは](#) (国立健康危機管理研究機構)

⇒ [マダニ対策、今できること](#) (国立健康危機管理研究機構)



吸血後の
フタゲチマダニ♀

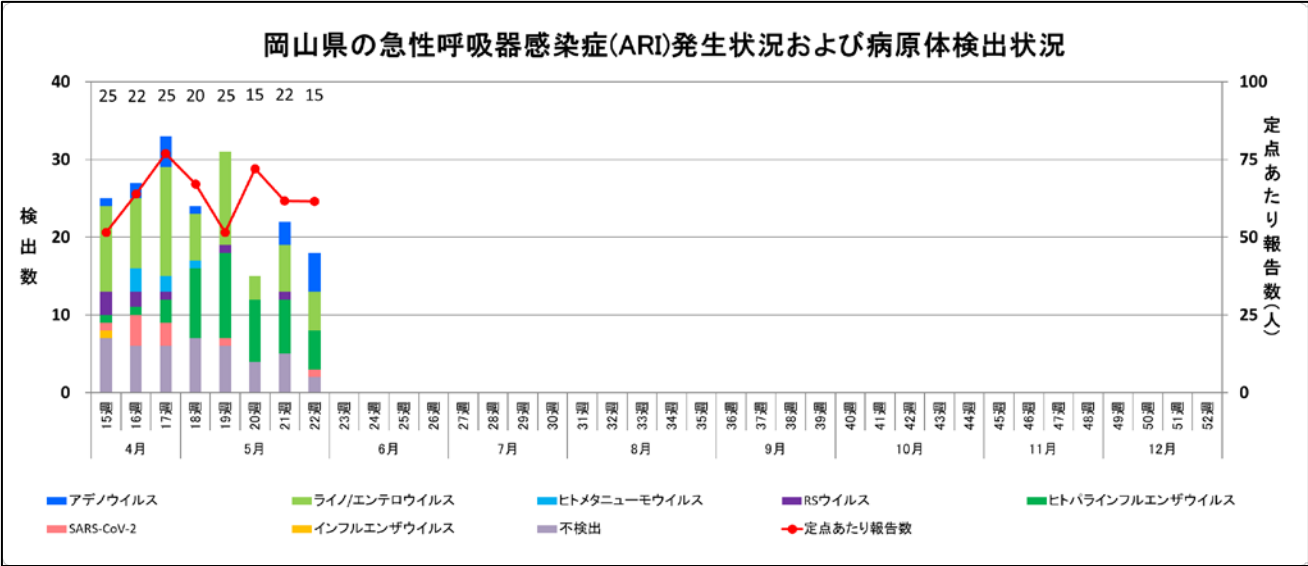


ヤマアラシマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 撮影画像

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第 22 週（ 5 / 26 ～ 6 / 1 ））



※定点把握対象となった第 15 週から表示しています。
※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。
※1 検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。
※グラフ上部の数字は検体数を示しています。
※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50 医療機関（内科定点 22、小児科定点 28）
※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5 医療機関

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で 3,078 名の報告があり、前週とほぼ同数でした（定点あたり 61.72 → 61.56 人）。地域別では、備中地域（115.20 人）、岡山市（71.28 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

2025 年第 21 週および第 22 週に採取された検体から検出された病原体は、33 株でした（詳細は下表参照）。

【第 21 週および第 22 週 岡山県環境保健センターにおける病原体検出状況】

	第 21 週	第 22 週	計*
検体数（うち不検出数）	22(5)	15(2)	37(7)
インフルエンザウイルス	0	0	0
SARS-CoV-2	0	1	1
ヒトパラインフルエンザウイルス	7	5	12
RS ウイルス	1	0	1
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0
ライノ/エンテロウイルス	6	5	11
アデノウイルス	3	5	8
計	17	16	33

* 重複あり

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について（国立健康危機管理研究機構）](#)

今週の注目感染症①

★百日咳

●感染経路および症状

百日咳は、百日咳菌による急性の気道感染症で、一年を通じて発生がみられます。感染経路は患者の咳などによる飛沫感染や接触感染です。

感染後、通常 7～10 日間程度の潜伏期を経て発症し、風邪症状で始まり、次第に咳の回数が増えます（カタル期：約 2 週間）。

咳は次第に発作性けいれん性の咳（けい咳）となり、発作をくり返します。おう吐や顔面浮腫を起こしたり、乳児期早期では特徴的な咳がなく、無呼吸発作により、重篤となることがあります。合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です（けい咳期：2～3 週間）。

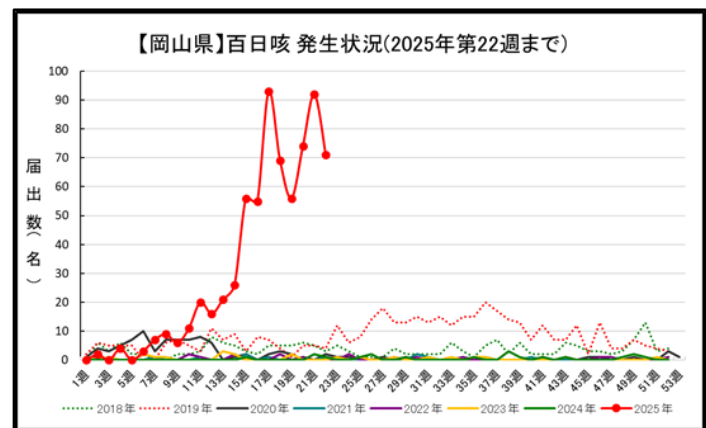
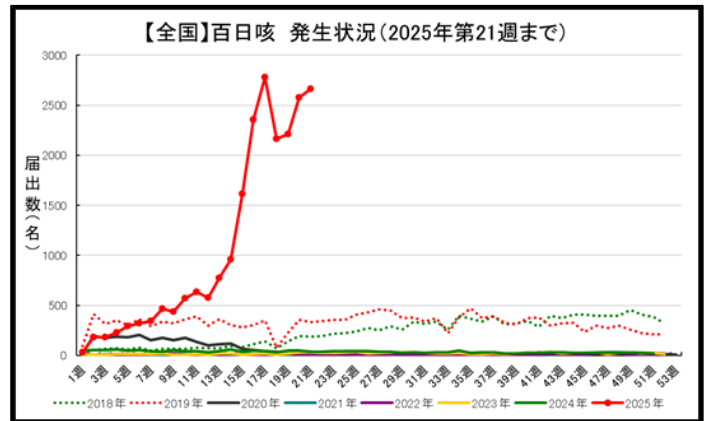
全経過 2～3 か月で次第に回復していきませんが、時折発作性の咳が出ることがあります（回復期）。

成人では咳が長期にわたって続きますが、典型的な発作性の咳がでることなく回復するため、見逃されやすくワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要です。

[百日咳（厚生労働省）](#)

[百日咳にご注意下さい（厚生労働省）](#)

[百日咳（国立健康危機管理研究機構）](#)



●治療・予防方法

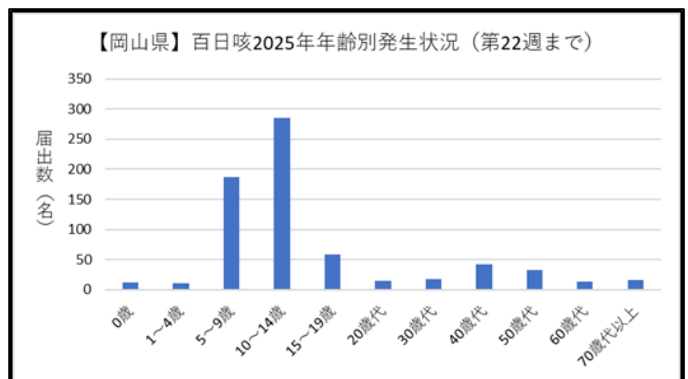
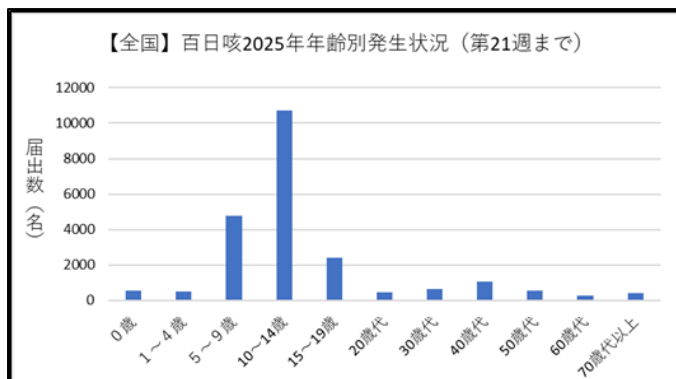
治療は生後 6 か月以上の患者にはマクロライド系の抗菌薬が用いられます。また、咳が激しい場合には、咳止め薬も用いられることがあります。

予防法は、予防接種のほか、感染者との接触を避ける、流行時のうがいや手洗い、手指の消毒などです。感染時は『咳エチケット』を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。また、風邪と見分けがつかないまま、感染を広げる可能性があるため、咳が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

●発生状況

全国では第 21 週に 2,660 名の届出があり、2025 年の累計届出数は 22,351 名となっています（2025 年 5 月 28 日時点）。年齢別では、5～14 歳で多く発生しています。

岡山県では第 22 週に 71 名の届出があり、2025 年の累計届出数は 691 名となっています（2025 年 6 月 4 日時点）。年齢別では、全国と同様に 5～14 歳で多く発生しています。



今週の注目感染症②

★伝染性紅斑

●感染経路および症状

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 による感染症で、小児を中心にみられる流行性発しん性疾患です。両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれます。感染経路は患者の咳などによる飛沫感染や接触感染です。

約 10～20 日の潜伏期間の後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がります。多くの場合、頬に発しんが出現する 7～10 日くらい前に、微熱や風邪の症状などが見られ、この時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。その後これらの発しんは一週間程度で消失しますが、中には長引いたり、発しんが再び出現することがあります。

成人では関節痛を伴う関節炎や頭痛などの症状が見られることもあります。ほとんどは合併症を起こすことなく自然治癒します。

[伝染性紅斑（厚生労働省）](#)

[伝染性紅斑（国立健康危機管理研究機構）](#)

●治療・予防方法

伝染性紅斑には特別な治療法はなく、対症療法が行われます。

ヒトパルボウイルス B19 は、紅斑が出ている時期にはほとんど排出されていません。そのため、予防法は初期症状である風邪症状がある方との接触を避ける、うがいや手洗い、手指の消毒を行うなどです。風邪症状のある人は『咳エチケット』を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。

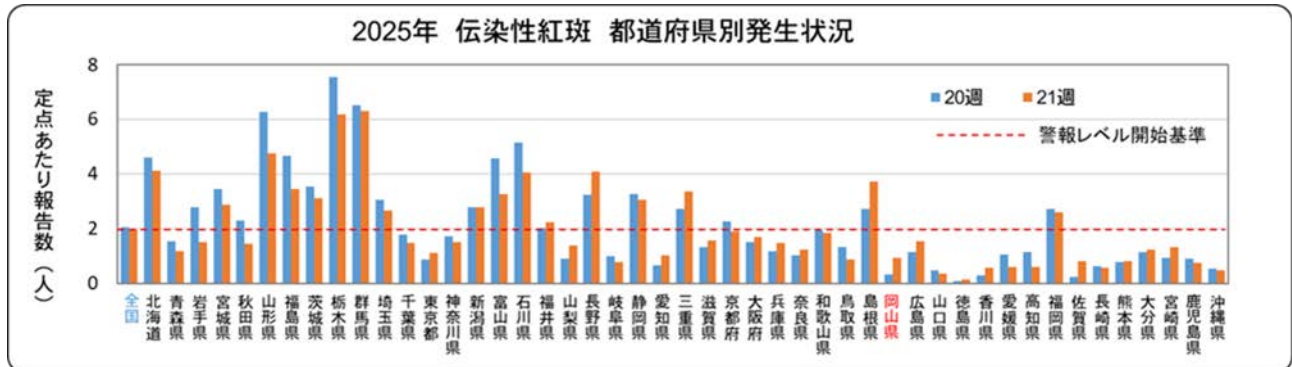
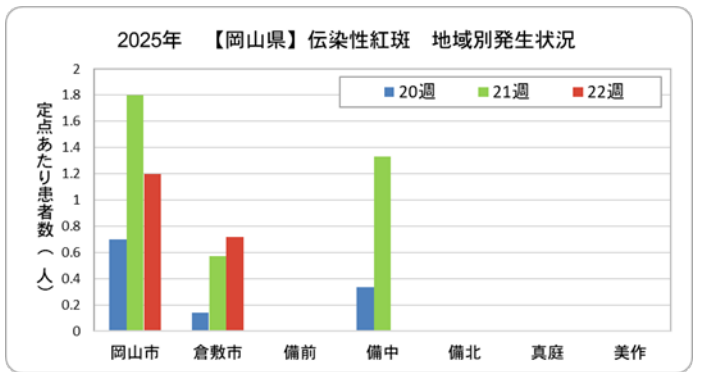
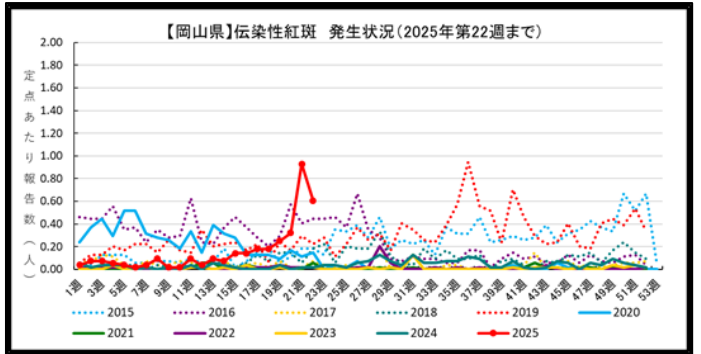
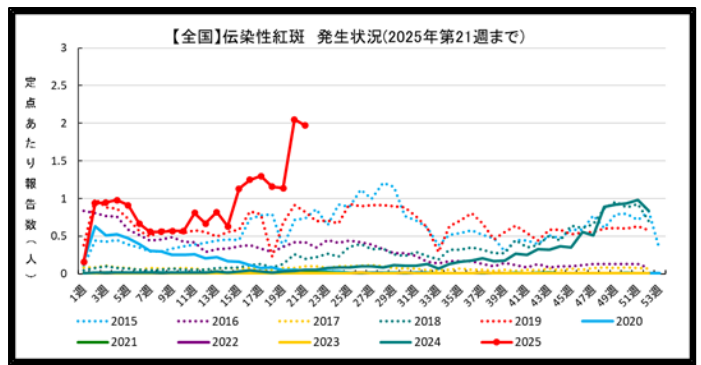
●妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまでヒトパルボウイルス B19 に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出る等、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は医療機関に相談しましょう。また、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、症状が無い場合も妊婦検診の際に医師に伝えてください。

●発生状況

全国の第 21 週の定点あたり報告数は第 20 週とほぼ同数でした（2.05→1.97 人）。都道府県別では、群馬県（6.32 人）、栃木県（6.19 人）、山形県（4.77 人）の順に定点あたり報告数が多く、17 道県で警報レベルの 2.00 人を超えています。

岡山県の第 22 週の定点あたり報告数は前週から減少しました（0.93→0.61 人）。地域別では、岡山市（1.20 人）、倉敷市（0.71 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。



6 / 1 ～ 6 / 7 は『HIV検査普及週間』です！

～ 未来への安心。はじめの一步は HIV 検査から。～



レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

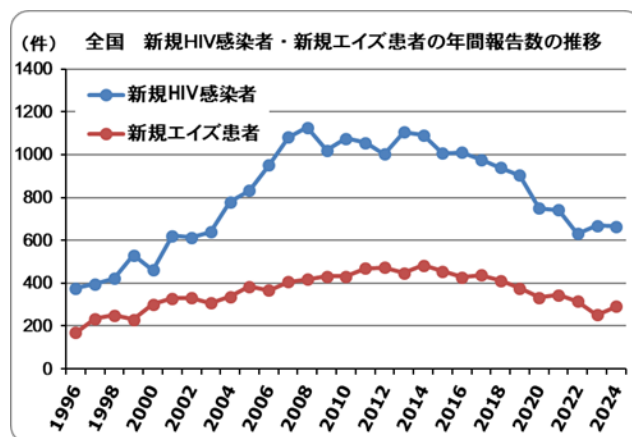
岡山県は、『受けやすい検査』『戦略的な普及啓発』『関係者の連携強化』を3本柱に、全県を挙げて、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染防止と「いきなりエイズ※」防止に取り組む、「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。その作戦の重点実施期間である「HIV 検査普及週間（6 / 1 ～ 6 / 7）」の事業として、6 月中に県内の保健所・支所において、啓発や夜間の特例検査を実施しています。

また、近年全国的に梅毒の感染者も増加しています。2024 年は岡山県でも過去最多の 355 名（暫定値）の感染者が報告されました。県内の保健所・支所では、性感染症の原因となる HIV、梅毒、クラミジアの検査を行っています。検査日時の詳細はこちらをご覧ください。 → [【知って防ごう！性感染症とエイズ（HIV）】](#)

※「いきなりエイズ」とは、エイズ（AIDS 後天性免疫不全症候群）発症によって初めて HIV に感染したことが判明することです。HIV 感染後エイズ発症まで、通常数年程度の期間を要するとされていますが、気づかずに過ごすため、HIV 感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染のひろがりにつながる可能性があり、対策が必要です。

1. 全国の新規 HIV 感染者と新規エイズ患者

2024 年の国内における新規 HIV 感染者と新規エイズ患者（いきなりエイズ）報告数の合計は 1000 件（速報値）であり、2023 年（960 件）より増加しており、2 年連続の増加となりました。また、新規エイズ患者報告数が 2023 年と比べ増加し、新規報告数全体に占める割合が過去 20 年間で最も高くなっています。これは、新型コロナウイルス感染症流行により保健所等での検査が減少したことで、エイズを発症するまで診断を受けていない患者が増えたためである可能性が考えられます。

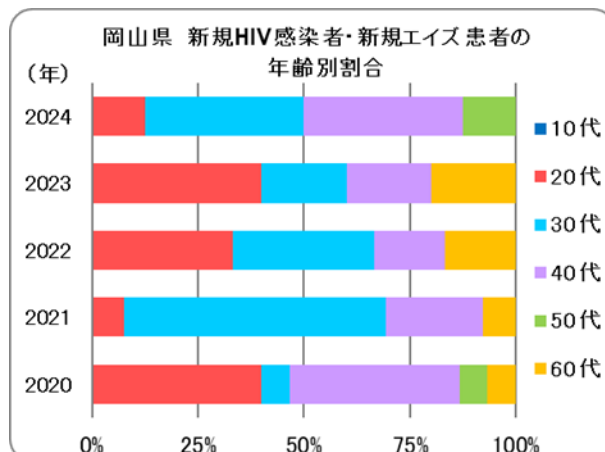
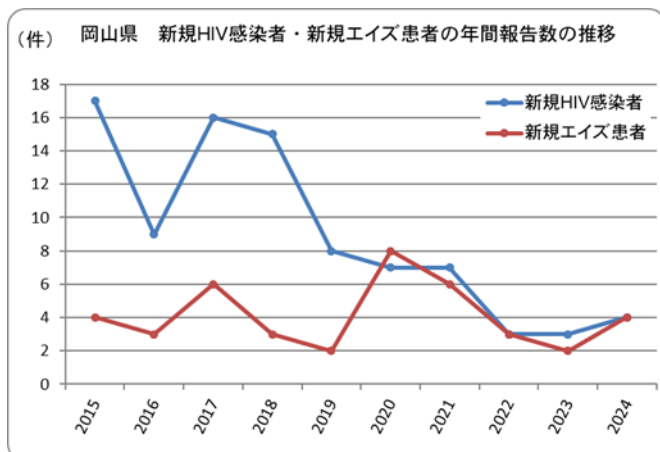


新規 HIV 感染者 …… HIV に感染しているものの、受診時にエイズを疑う症状がなかったもの。

新規エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、「エイズ（AIDS）」患者として報告されたもの（す
（いきなりエイズ） …… で HIV 感染者と報告され、後にエイズを発症した症例は除く）。

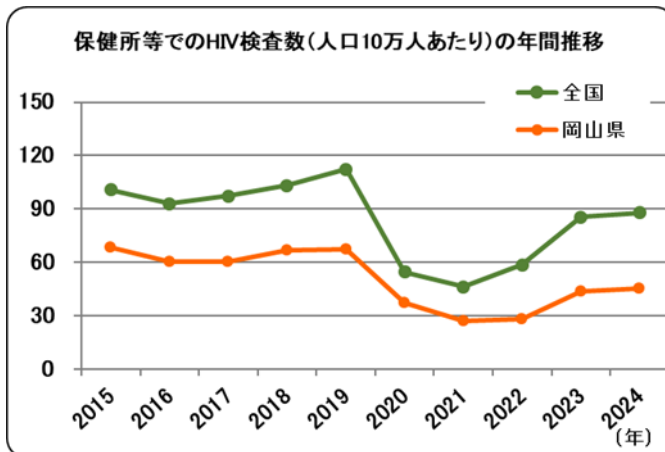
2. 岡山県の新規 HIV 感染者と新規エイズ患者

2024 年の岡山県における新規 HIV 感染者（4 名）と新規エイズ患者（4 名）の報告数の合計は 8 件であり、全員男性でした。年齢別割合をみると、20～50 代で発生が報告されています。



3. HIV 検査について

岡山県内で自発的に HIV 検査を受けた人の数は、2020 年以降、新型コロナウイルス感染症流行に伴い大幅に減少しており、2023 年は増加したものの、2024 年は検査件数の伸びが鈍化し、2019 年以前の件数には至っていません。HIV に感染してからエイズ発症までは、通常数年程度自覚症状がない時期が続くため、感染していることに気づきにくく、知らないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIV 治療は急速に進歩しており、早期に感染を知り発症する前に適切な治療を開始できれば、定期的に通院しながら今までとほぼ同じ生活を送ることが可能です。HIV に感染しているかどうかは、HIV 検査を受けないとわかりません。早期発見・早期治療がエイズ発症防止や感染拡大防止にも結びつくことから、拠点病院（一律 1,000 円）や保健所（無料・匿名）での HIV 検査を積極的に利用しましょう。



県内 10 か所のエイズ治療拠点病院において、検査を実施しています。

- *いずれの拠点病院でも一律 1,000 円で受けられます(要予約)。
- *検査は匿名では受けられませんので、ご注意ください。
- *検査結果は検査を受けた日(約 1～2 時間後)にお知らせします。
- *確実な検査結果を得るためには、感染機会があったと思われる日から、8 週間以上経過していることが必要です。
- *事前に電話での予約が必要です。

岡山県内では、HIV 検査普及週間中（6／1 ～ 6／7）に県内保健所・支所において、定例日以外や夜間でも検査を実施しています。

- *検査は無料・匿名で受けることができます。
- *通常検査では 1 週間後、迅速検査では 1 時間後に結果をお知らせしています。
- *確実な検査結果(性感染症を含む)を得るためには、感染機会のあった日から、3 か月たって検査することをおすすめします。
- *HIV 以外に梅毒などの検査も受けることができます。
- *詳しくは各保健所までお問い合わせください。

検査日時・予約連絡先はこちらをご覧ください ⇒ [【令和7年度検査実施日時】](#)

梅毒等の性感染症にも
気をつけましょう



© 岡山県「ももっち」

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	50	1.00	14	0.78	11	0.92	2	0.50	9	1.80	12	3.00	1	0.50	1	0.20
COVID-19	35	0.70	11	0.61	16	1.33	3	0.75	2	0.40	1	0.25	—	—	2	0.40
急性呼吸器感染症	3078	61.56	1283	71.28	678	56.50	174	43.50	576	115.20	168	42.00	55	27.50	144	28.80
RSウイルス感染症	2	0.07	—	—	2	0.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	18	0.64	11	1.10	1	0.14	3	1.50	3	1.00	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	1.86	20	2.00	15	2.14	1	0.50	14	4.67	—	—	—	—	2	0.67
感染性胃腸炎	250	8.93	147	14.70	27	3.86	8	4.00	46	15.33	10	5.00	3	3.00	9	3.00
水痘	3	0.11	2	0.20	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
手足口病	7	0.25	6	0.60	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	17	0.61	12	1.20	5	0.71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発しん	20	0.71	8	0.80	7	1.00	—	—	5	1.67	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	2	0.07	2	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	4	0.14	2	0.20	1	0.14	—	—	—	—	1	0.50	—	—	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	—	—	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	1	0.20	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	50	1.00	14	0.78	11	0.92	2	0.50	9	1.80	12	3.00	1	0.50	1	0.20
咽頭結膜熱	18	0.64	11	1.10	1	0.14	3	1.50	3	1.00	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	1.86	20	2.00	15	2.14	1	0.50	14	4.67	—	—	—	—	2	0.67
感染性胃腸炎	250	8.93	147	14.70	27	3.86	8	4.00	46	15.33	10	5.00	3	3.00	9	3.00
水痘	3	0.11	2	0.20	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
手足口病	7	0.25	6	0.60	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	17	0.61	12	1.20	5	0.71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	2	0.07	2	0.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	4	0.14	2	0.20	1	0.14	—	—	—	—	1	0.50	—	—	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	1	0.08	—	—	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2025年 第22週 2025/05/26～2025/06/01)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	50	－	－	－	－	－	－	2	1	－	2	1	24	6	2	4	4	1	2	－	1
COVID-19	35	－	1	1	1	－	－	－	－	1	1	－	2	1	5	2	2	6	2	4	6

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	3078	299	1301	581	376	85	38	72	69	71	59	61	66

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	18	-	2	12	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	-	-	2	4	4	5	9	4	6	7	1	7	1	2
感染性胃腸炎	250	3	22	54	26	8	25	18	15	8	11	8	29	4	19
水痘	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-
手足口病	7	-	-	4	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	17	-	-	-	3	2	3	2	2	4	-	1	-	-	-
突発性発しん	20	-	7	6	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

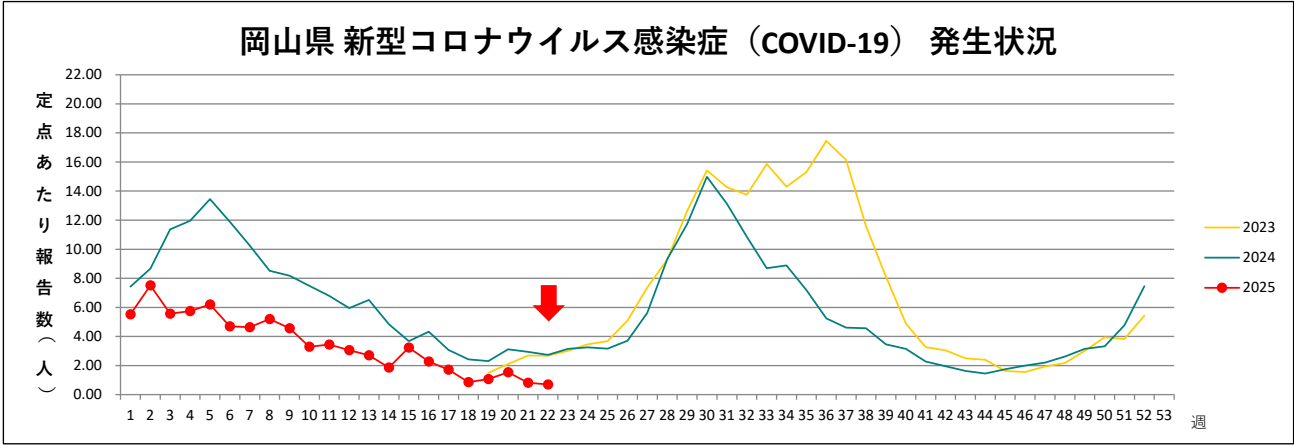
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	35	0.70	11	0.61	16	1.33	3	0.75	2	0.40	1	0.25	-	-	2	0.40

（ - : 0 or 0.00 ）

年齢別

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	35	-	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	2	1	5	2	2	6	2	4	6

（ - : 0 ）



保健所別

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症（ARI）	3,078	61.56	1,283	71.28	678	56.50	174	43.50	576	115.20	168	42.00	55	27.50	144	28.80

（ - : 0 or 0.00 ）

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症（ARI）	3,078	299	1,301	581	376	85	38	72	69	71	59	61	66

（ - : 0 ）



全数把握 感染症患者発生状況 2025 年 22 週

全数把握 感染症患者発生状況 2025 年 22 週

[illegible]

